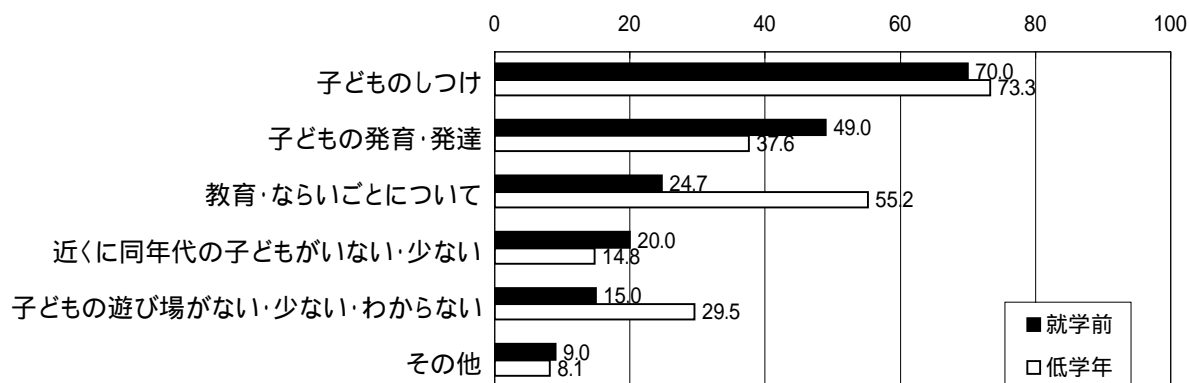


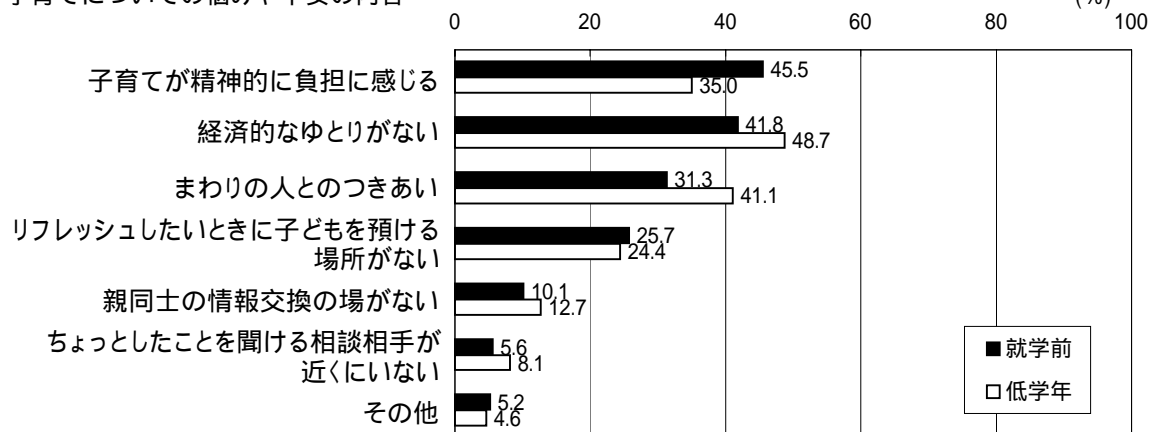
子どものことに関する悩み・不安の内容

(%)



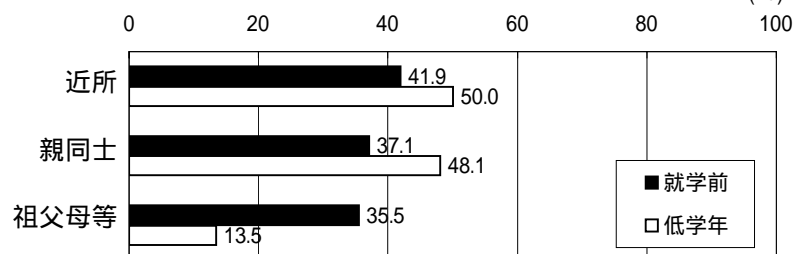
子育てについての悩みや不安の内容

(%)



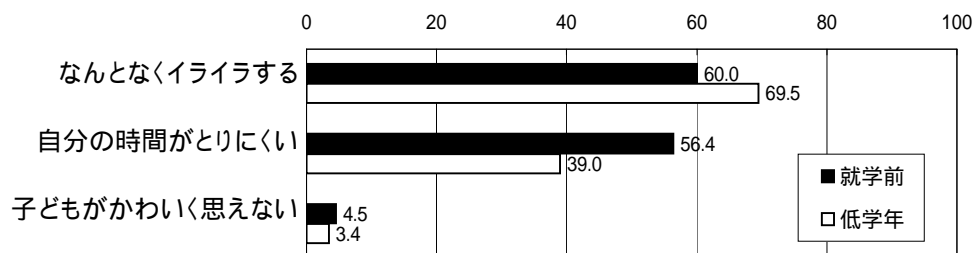
まわりの人とのつきあいの内訳

(%)



子育てが精神的負担に感じるの内容

(%)



悩みや不安の相談

悩みや不安があっても相談しなかった人は4人に1人

相談の相手は友人・知人、家族・親族が7割以上、専門機関への相談は少ない

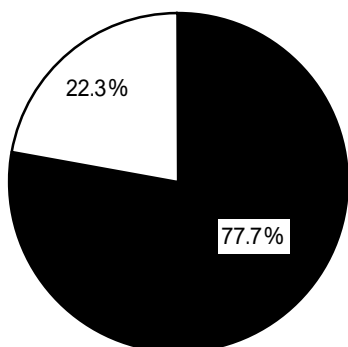
相談しなかった人の約3割は「近くに相談できる人がいなかった」、約2割は「悩んだり考えたくなかった」、保護者となった

身近なところで子どもといっしょに利用ができ、相談や情報の収集、子どものしつけについて助言が得られ、子どもが親から離れて遊べて親同士が気軽に交流できる“場”(施設)が必要

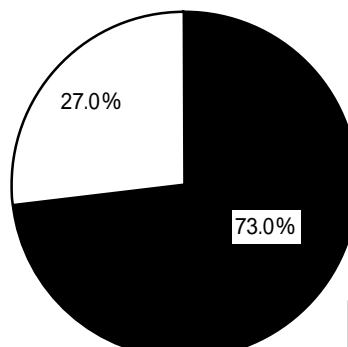
- ・ 悩みや不安を誰かに相談したことがあると答えた人は、就学前で77.7%、低学年で73.0%となったが、4人に1人が相談しなかったということに着眼すべきである。
- ・ 相談したことがあると答えた人の内、悩みや不安の相談相手については、「友人・知人」が低学年で74.9%、就学前では66.8%、「家族・親族等」が就学前で82.0%、低学年で71.3%と高い数値となった反面、「保育所(園)・学校」が就学前21.9%、低学年14.4%、「保健所」が就学前7.0%、低学年6.6%、「子どもの相談機関」が就学前6.6%、低学年6.0%、「医療機関」が就学前6.3%、低学年4.8%と低調な結果となった。その一方、「友人・知人」「家族・親族等」に相談した結果悩みや不安が解消したのか、適切な助言や情報の提供が得られたのか、不安な要素がある。
- ・ 相談しなかったと答えた人の理由については、「自分で解決できる」と答えた人は就学前、低学年とも約40%となったが、「近くに相談できる人がいなかった」と答えた人が低学年で29.5%、就学前で24.3%、「悩んだり・考えたくなかった」と答えた人が就学前で22.9%、低学年で16.4%となった。「その他」をあわせると約60%の人が何らかの理由で相談しなかった(できなかった)という結果となった。
- ・ 希望する「相談できたり情報を収集できる場」としては、「そこで相談したり、情報が得られる場」と答えた人が、就学前で47.5%、低学年で45.0%、「子どもと遊んでくれたり、親にしつけのアドバイスをしてくれる場」が就学前で46.6%、低学年で40.9%、「親同士が気軽に集える場」が就学前で43.5%、低学年で39.1%という結果となった。このことから、身近なところで子どもといっしょに利用ができ、相談や情報の収集、子どものしつけについて助言が得られ、子どもが親から離れて遊べて親同士が気軽に交流できる“場”(施設)づくりの重要性が指摘される。

悩みや不安の相談経験の有無

【就学前】

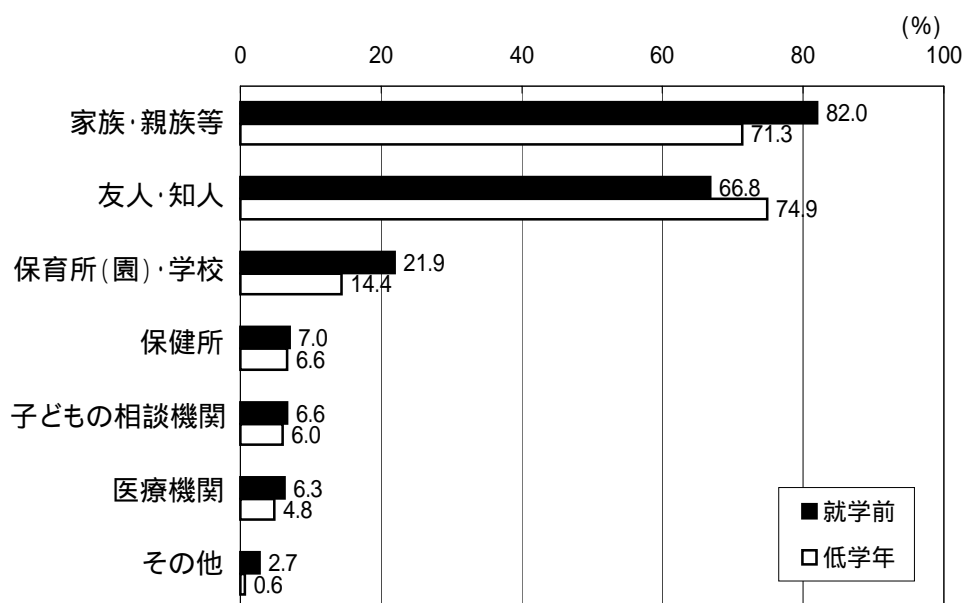


【低学年】

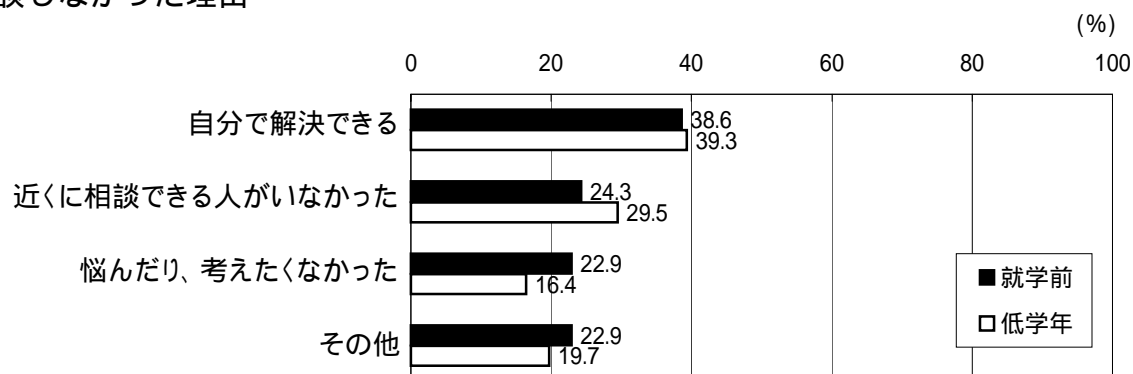


■ 相談した
□ 相談しなかった

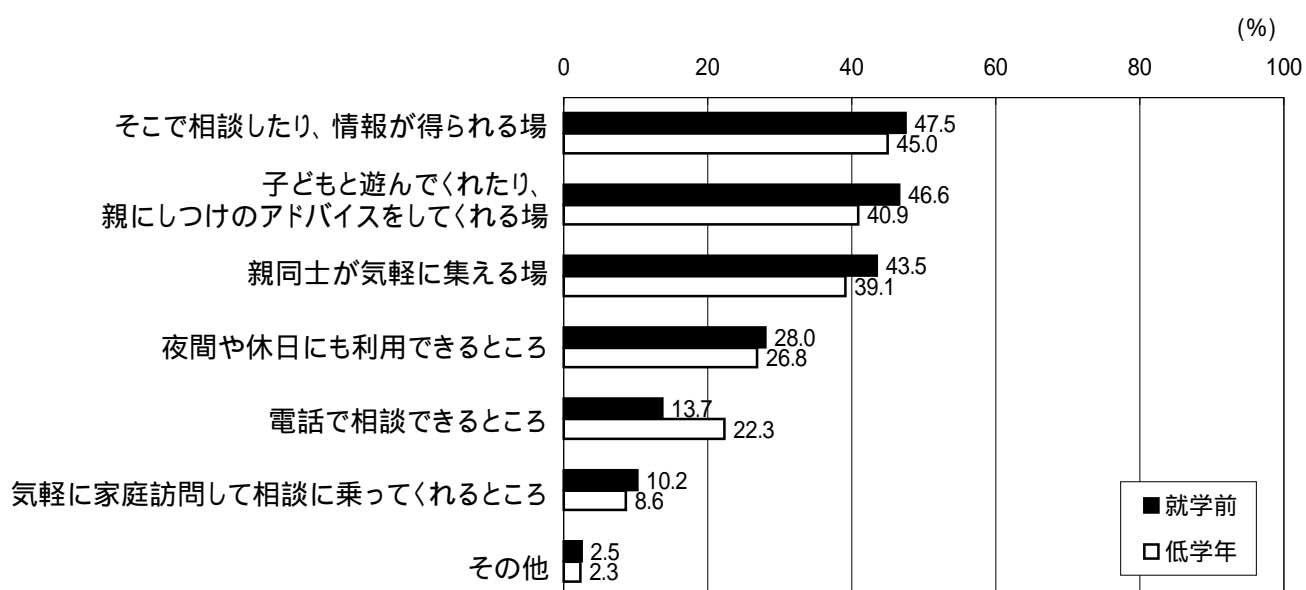
悩みや不安の相談相手



相談しなかった理由



希望する相談・情報提供の場



(4) 子育て情報入手ルート

子育て中の親の子育て情報の入手は「知人・友人」がトップ

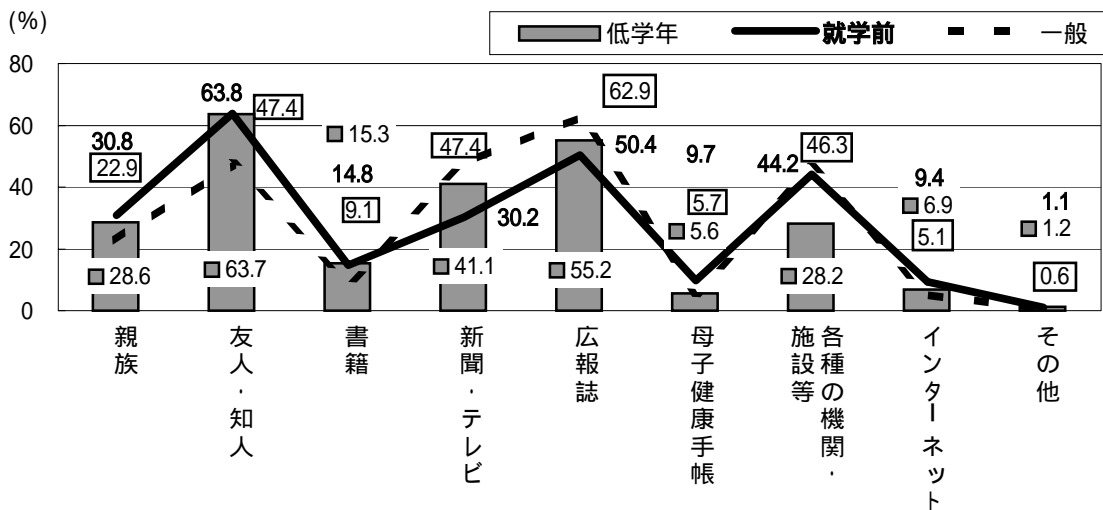
子育て情報の提供手段として「広報誌」は有力な手段である

保健所や保育所(園)、児童館での情報提供は、直接当事者に情報を手渡す手段として有効

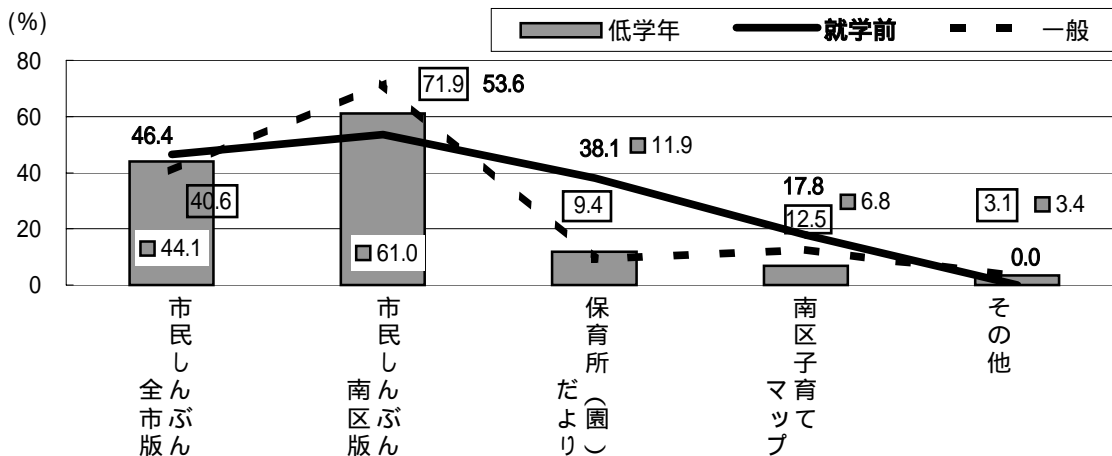
子育てマップは、上記の手段を大いに活用したため6割の普及率となっている

- ・ 就学前、低学年とも「友人・知人」が60%以上でトップ、しかし一般になると47.4%と両者と比較してやや低くなっている。
- ・ 「広報誌」では、一般がトップで60%以上となり、低学年で55.2%、就学前で50.4%となっている。「広報誌」の中では「市民しんぶん(全市版・南区版)」が高い数値となった。
- ・ 「新聞・テレビ」では、一般が47.4%、低学年が41.1%、就学前が30.2%となっている。
- ・ 「各種の機関・施設等」では、一般が46.3%、就学前が44.2%、低学年が28.2%と他と比較してやや少な目となっている。就学前では「保育所(園)」からの情報入手が他と比較して高い数値となった。(就学前のサンプルが保育所利用者の割合が高いため、当然の結果ではある)。
- ・ 「子育てマップ」は就学前の子育て家庭を対象としているため、所有状況では就学前が約60%に対し低学年は25%となっている。入手ルートとしては、就学前、低学年とも「保育所(園)・幼稚園」が多く、次いで就学前では「区役所(主に保健所)」、低学年では「児童館」となっている。
- ・ 「子育てマップ」への意見・感想については、「分かりやすい」「見やすい」という意見・感想が多く寄せられたが、「一つ一つの機関をもっと詳しく教えてほしい」「定期的にイベント情報等の情報誌を発行してほしい」等の意見も寄せられた。

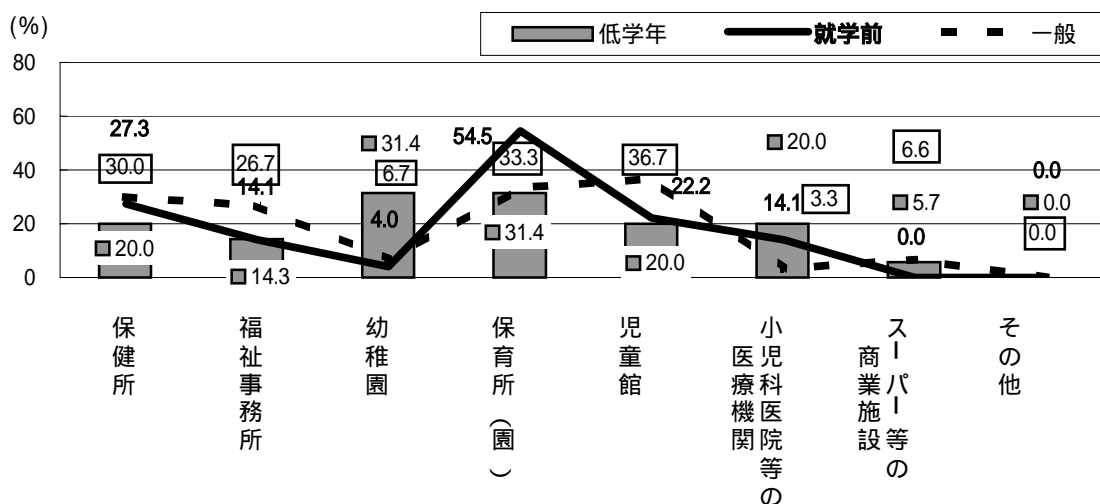
子育て情報の入手ルート



入手ルートの広報誌の内訳



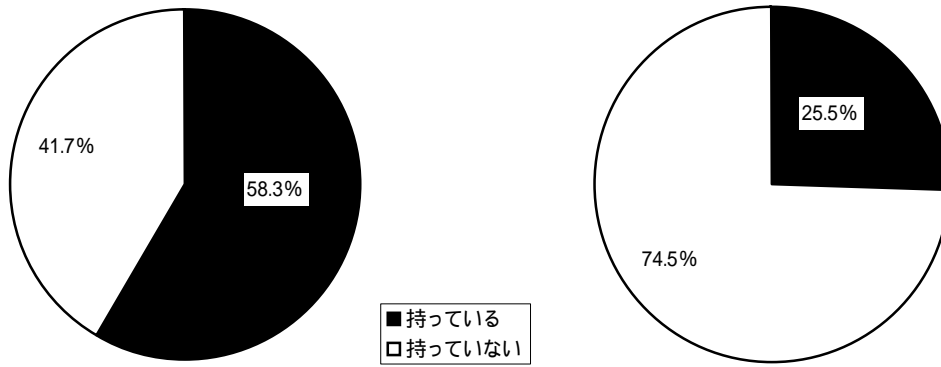
入手ルートの各種の機関・施設等の内訳



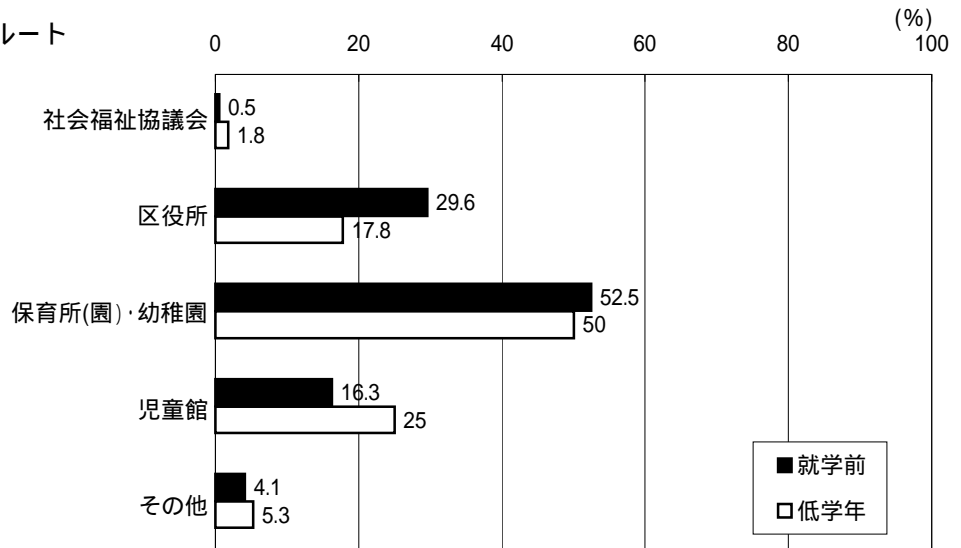
子育てマップの所有状況

【就学前】

【低学年】



子育てマップの入手ルート



(5) 子育て支援・相談事業

子育て支援事業

) 認知状況

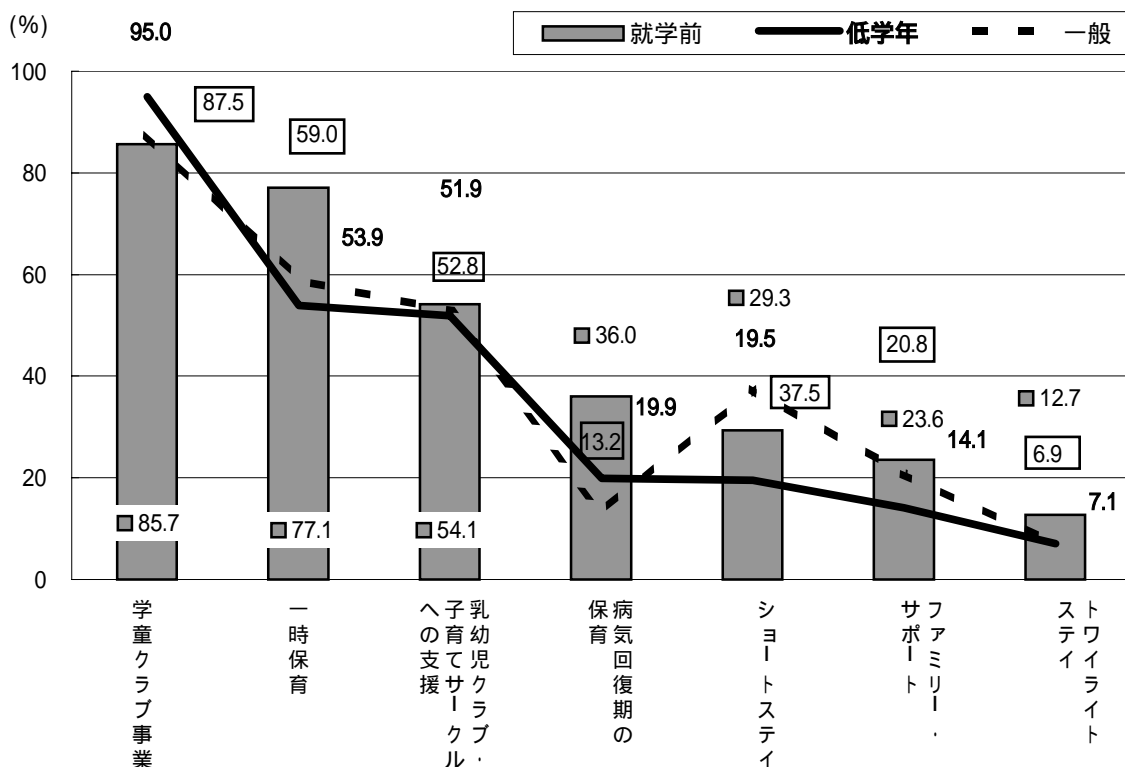
「学童クラブ」の認知度は約9割

「一時保育」「乳幼児クラブ・子育てサークルへの支援」は5割を超えた認知度

「病気回復期の保育」「ショートステイ」「ファミリー・サポート」「トワイライトステイ」は認知度が4割以下となっている

- ・ 「学童クラブ」については、低学年95.0%、一般87.5%、就学前85.7%とそれぞれの対象で最も高い認知度となった。
- ・ 次に、「一時保育」は就学前で77.1%、一般59.0%、低学年53.9%、「乳幼児クラブ・子育てサークルへの支援」が就学前54.1%、一般52.8%、低学年51.9%という結果になり、いずれも5割を超えた認知度となっている。
- ・ それに反して、「病気回復期の保育」（就学前36.0%、低学年19.9%、一般13.2%）「ショートステイ」（一般37.5%、就学前29.3%、低学年19.5%）「ファミリー・サポート」（就学前23.6%、一般20.8%、低学年14.1%）「トワイライトステイ」（就学前12.7%、低学年7.1%、一般6.9%）とどれも5割に満たない結果となった。また、事業の対象となる親の層で他の対象と比べて認知度がやや低くなる傾向となっている。

認知状況

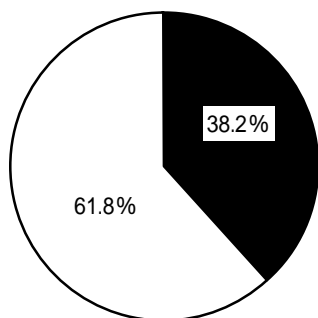


利用状況

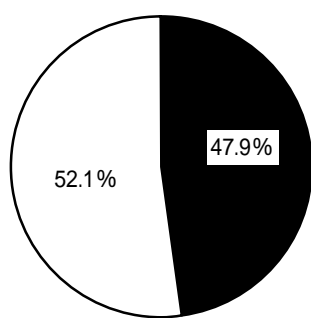
「学童クラブ」や「乳幼児クラブ」、「子育てサークル」は気軽に利用されている
 その他の支援事業は知られているとはいえない

- ・ 子育て支援事業を「利用したことがある」人は、低学年47.9%、就学前38.2%、一般27.8%となった。
- ・ 「利用したことがある」人の内、低学年と一般では「学童クラブ事業」（低学年66.7%、一般58.0%）、就学前は「乳幼児クラブ・子育てサークル」（62.5%）が最も高い数値となった。
- ・ 「一時保育」は就学前では25%を超えたが、低学年・一般ともに10%を下回っている。
- ・ 「ファミリーサポート」「ショートステイ」「病気回復期の保育」「トワイライトステイ」は6%未満で低い数値となった。
- ・ 利用した感想では、「乳幼児クラブ・子育てサークル」については、親も子どもも友達ができたと感想が多く寄せられた。「学童クラブ事業」については、親にとって安心・安全な居場所として助かっているという感想が多く寄せられた。また、事業に従事する職員に対して好意的な感想や同年代の子ども同士で遊べたことに対して良かったという感想も寄せられた。
- ・ 寄せられた感想の中で事業に対する要望や不満という点では、主に学童クラブに関して、保育時間を延長してほしい、対象年齢を引き上げてほしい、経済的な負担の軽減、定数を増やしてほしい、職員の資質の向上等の意見が寄せられた。また出来上がった親のグループの中に入る難しさを訴える声や、毎日利用しないパート就労の保護者の利用をめぐる不満等、実に様々な意見が寄せられた。

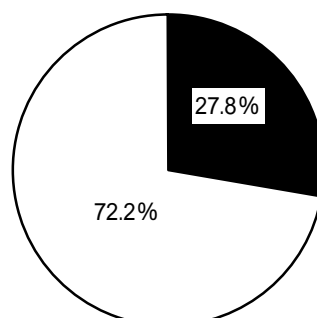
利用の有無
 【就学前】



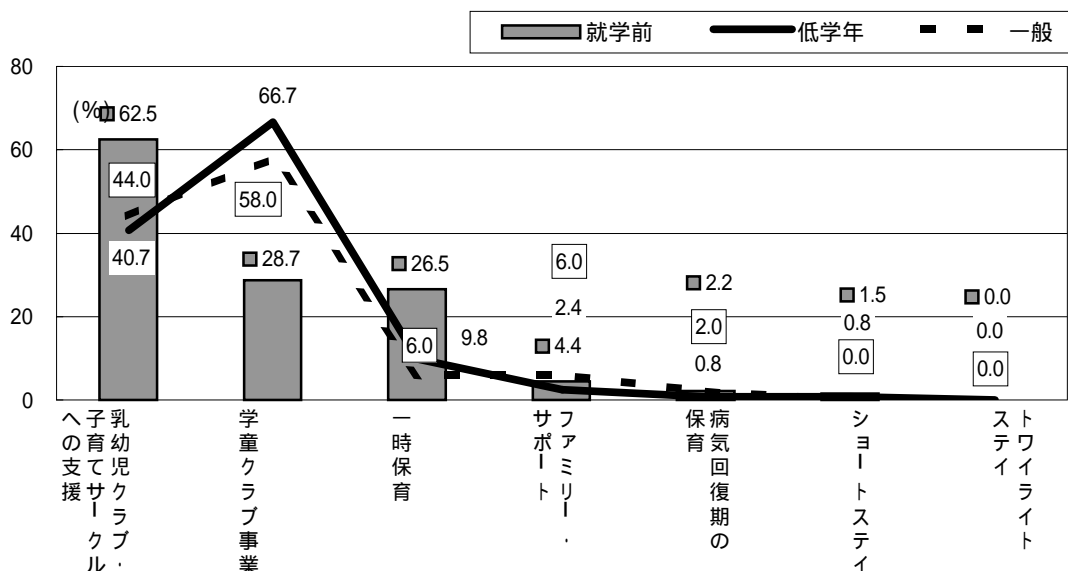
【低学年】



【一般】



■ 利用したことがある □ 利用したことがない

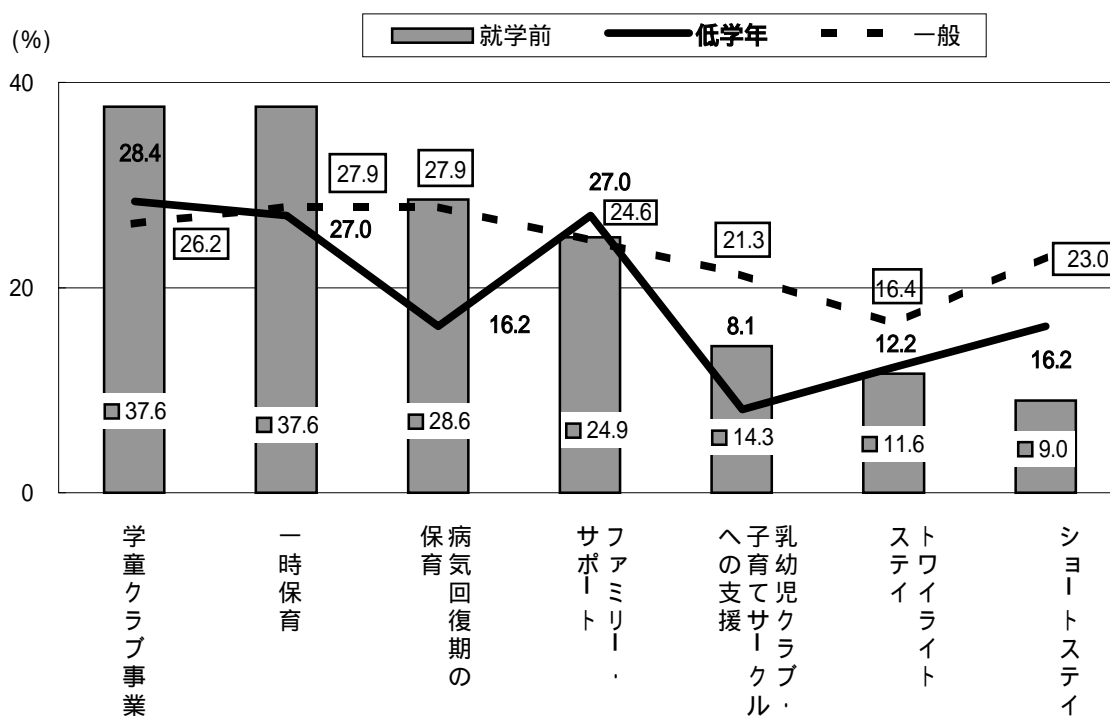


利用してみたい支援事業

利用してみたい支援事業でもトップは「学童クラブ事業」

- ・ 必要があれば利用してみたい事業では、回答のあった人の内、「学童クラブ」が比較的高く（就学前37.6％、低学年28.4％、一般26.2％）、次いで「一時保育」（就学前37.6％、低学年27.0％、一般26.2％）、「ファミリーサポート」（就学前24.9％、低学年27.0％、一般24.6％）、「病気回復期の保育」（就学前28.6％、低学年16.2％、一般27.9％）の順となった。
- ・ 就学前では「一時保育」（37.6％）「病気回復期の保育」（28.6％）、低学年では「一時保育」（27.0％）「ファミリーサポート」（27.0％）が比較的高い。
- ・ 「ファミリーサポート」は、回答のあった人の内、就学前、低学年、一般ともに4人に1人が利用してみたいと答えており、低学年で2番目の利用してみたい事業となっている。

利用してみたい支援事業



理想の支援事業

休日や夜間、時間外にも利用できる保育(学童クラブ)や病気回復期や緊急時の保育

相談機関

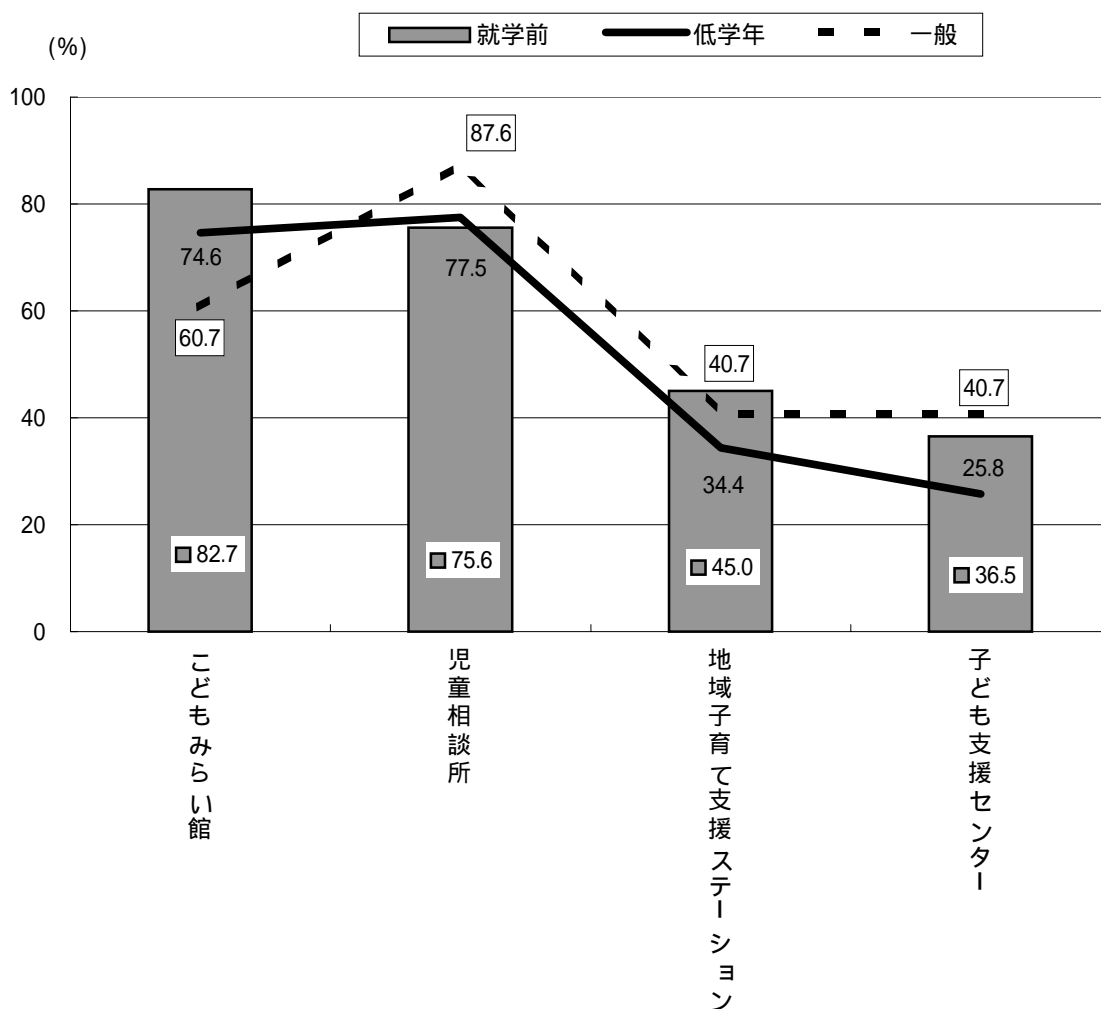
) 認知状況

「児童相談所」、「こどもみらい館」はよく知られている

「地域子育て支援ステーション」「子ども支援センター」は独自の啓発が必要

- ・ 「児童相談所」（一般87.6％，低学年77.5％，就学前75.6％）「こどもみらい館」（就学前82.7％，低学年74.6％，一般60.7％）と高い数値となった。
- ・ 「地域子育て支援ステーション」は，就学前45.0％，一般40.7％，低学年34.4％，「子ども支援センター」では，一般40.7％，就学前36.5％，対学年25.8％という結果となり，地域の身近にある子育て相談機関ではあるが，50％を下回る結果となった。

相談機関認知度



利用状況

「こどもみらい館」は利用した人が最も多い

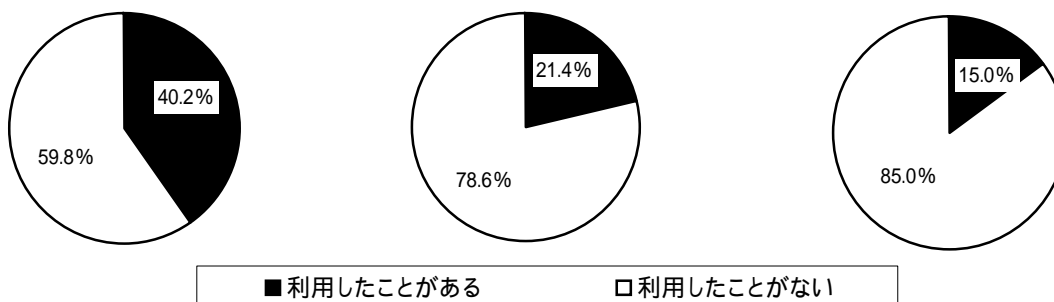
- ・ 「利用したことがある」人は、就学前40.2%、低学年21.4%、一般15.0%となった。
- ・ 「利用したことがある」と答えた人の内、「こどもみらい館」が高い数値となった。（就学前83.7%、低学年74.5%、一般74.1%）低学年では、次いで「児童相談所」（29.1%）、就学前では「地域子育てステーション」（17.7%）となった。
- ・ 認知状況も含めて「地域子育て支援ステーション」「子ども支援センター」が低い数値となっているのは、設置されている母体施設・機関が保育所、児童館、福祉事務所であるため、そのイメージが強く、「地域子育てステーション」や「子ども支援センター」を利用するというより施設や福祉事務所を利用しているという認識になっているのではなかろうか。そうであるとすれば、独自のアピールが求められる。
- ・ 利用した感想では、利用して良かった・楽しかった・助かったという声が多く、次いで子どもも親も友達ができた・同年代の子どもと遊ぶことができたというような「つながり」ができて良かったという意見や親がリフレッシュできたという意見が多かった。

利用の有無

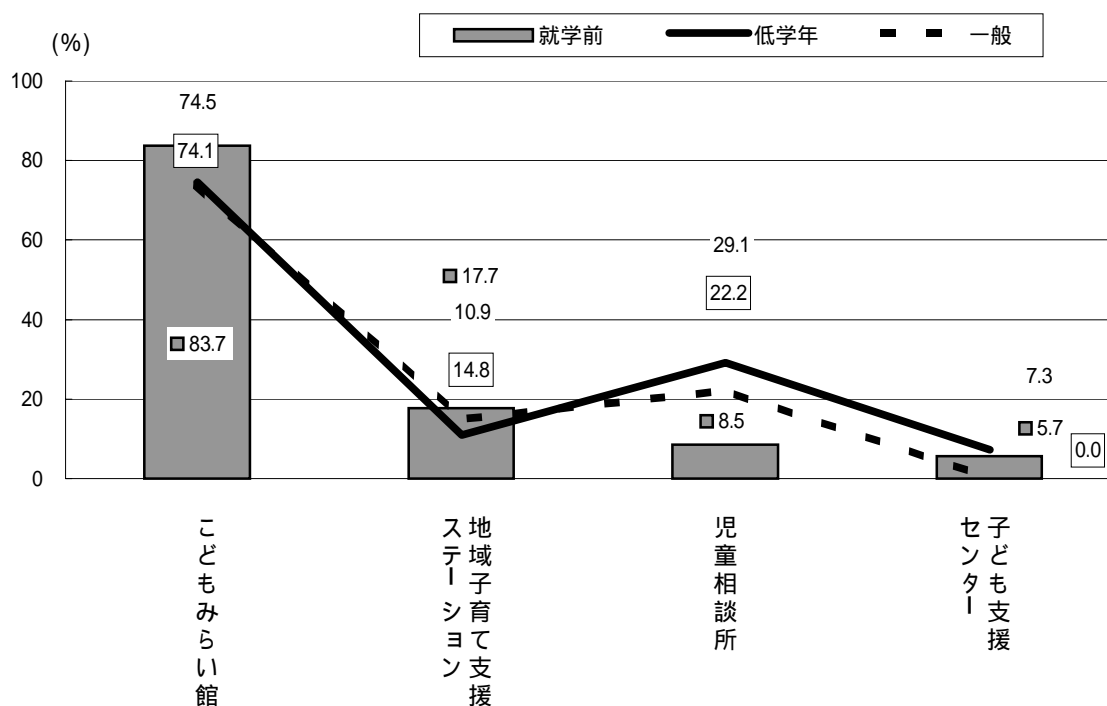
【就学前】

【低学年】

【一般】



利用ありの施設別利用度

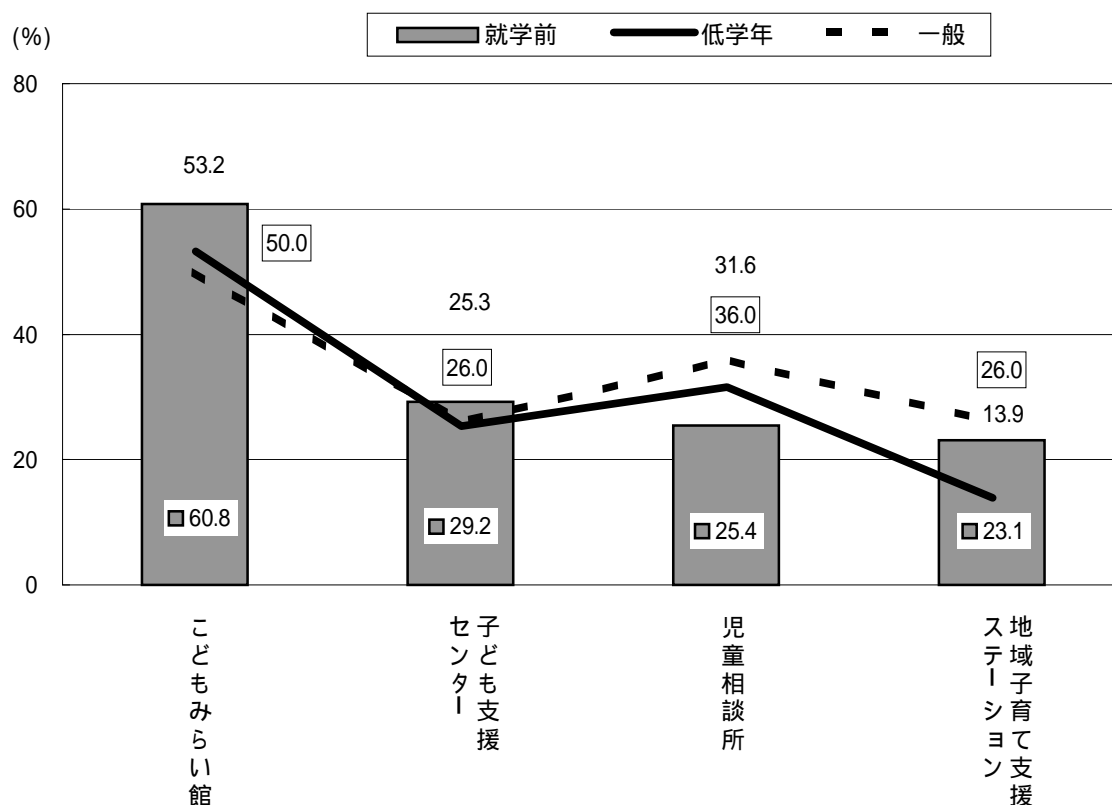


利用してみたい相談機関

利用してみたい相談機関も「こどもみらい館」がトップ

- ・ 必要があれば利用してみたい相談機関では、回答のあった人の内、「こどもみらい館」が最も高い数値となった。（就学前60.8％，低学年53.2％，一般50.0％）
- ・ 就学前では「子ども支援センター」29.2％，「児童相談所」25.4％，「地域子育てステーション」23.1％となり，低学年では「児童相談所」31.6％，「子ども支援センター」25.3％，「地域子育てステーション」13.9％という結果になった。

利用してみたい相談機関



理想の相談機関

身近なところで気軽に子どもの健康や子育て、しつけ、いじめ等を相談できる敷居の低い相談場所が求められている。

相談にしても支援にしても、夜間や土曜、日曜、祝日も利用できることが重要

(6) 一般の方の子育て支援に関する意識状況

6割が子育て支援に関心があり、その内7割が地域で子育て支援をしたいと思っている

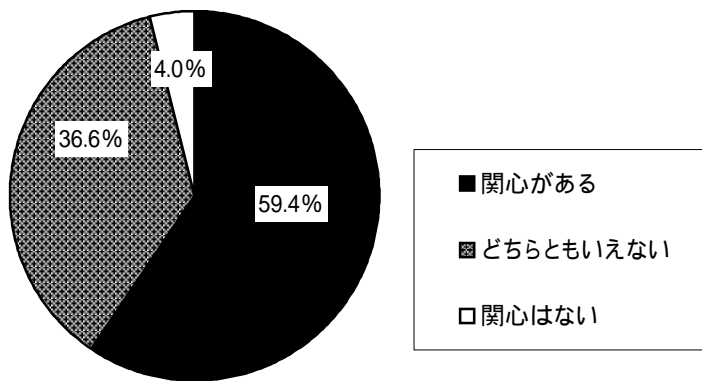
その内、孫の世話、相談や声かけ等の身近なところからの支援の意向が強い

支援の意向のある人では、週に1回、午前10時から12時、午後2時から4時の2時間程度の活動なら可能と考えている人が多い

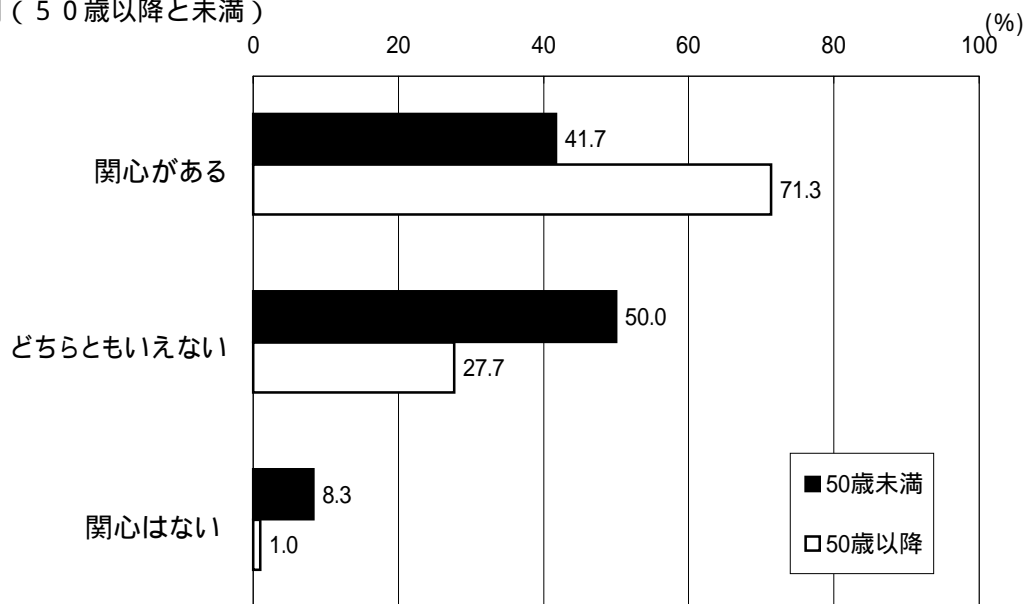
子育て支援への関心度

- ・ 「関心がある」と答えた人は約60%となった。
- ・ 50歳以降の年代の人の関心度は高い。

関心度（全体）



年代別（50歳以降と未満）

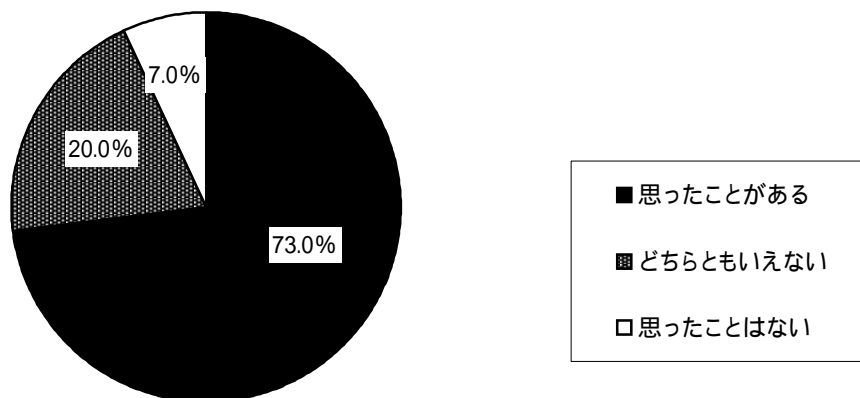


子育て支援の意向

）子育て支援の意向度

- ・ 子育て支援に関心があると答えた人の内、地域で子育て支援をしたいと思ったことのある人は約70%となった。

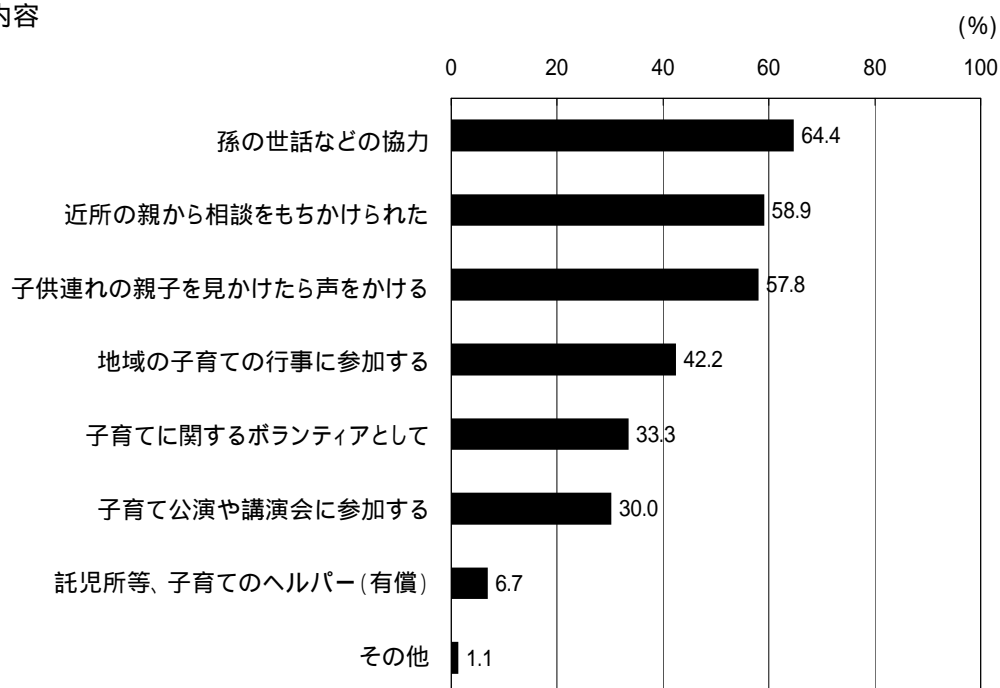
意向度



）できそうな子育て支援の内容

- ・ 地域で子育て支援をしたいと思ったことのある人の内、「孫の世話などの協力」(64.4%)、「近所の親から相談をもちかけられたら相談にのる」(58.9%)、「子ども連れの親子を見かけたら声をかける」(57.8%)と50%を超えている。
- ・ 30%から40%の人は、「地域の子育ての行事に参加する」「子育てに関するボランティアとして活動する」「子育て講座や講演会に参加する」と答えた。

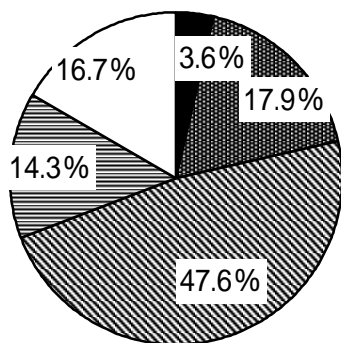
支援の内容



）可能な子育て支援の頻度

- ・ 地域で子育て支援をしたいと思ったことのある人の内，可能な子育て支援の頻度は「週に1回」が約50%となった。

支援頻度

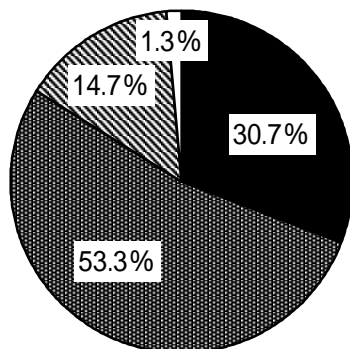


■ 毎日 ■ 週に2~3回 ▨ 週に1回 ▩ 2週間に1回 □ 1ヶ月に1回

）可能な子育て支援1回あたりの時間

- ・ 地域で子育て支援をしたいと思ったことのある人の内，可能な子育て支援の1回あたりの時間については，「2時間以上」が約50%となった。

1回あたりの時間



■ 1時間以上 ■ 2時間以上 ▨ 3時間以上 □ それ以上

）子育て支援が可能な時間帯

- ・ 地域で子育て支援をしたいと思ったことのある人の内，可能な子育て支援の時間帯では，「10時~12時」が48.7%，「14時~16時」が42.1%と高い数値となった。

支援可能な時間帯

